

つなぐ、フリーペーパー

# Paper Smart

TAKE FREE



## 「美しい人工関節」

インタビュー  
人工関節専門ドクター  
小林 貴幸 先生



バックナンバーがWEBから  
ご覧いただけます。



本誌に掲載されている記事、写真、図表などの著作権は、スマートクリニックまたは著作者に帰属します。無断での複製、転載、翻訳、販売などを禁じます。  
また、本記事に登場する体験談は、個人の見解に基づくものであり、これをもって一般的な効果や結果が保証されるものではありません。



Paper Smart Vol.11

# 人工関節は美しい。

人工関節専門ドクター  
**小林 貴幸** 先生  
*Takayuki Kobayashi*



今回は、4月に多治見スマートクリニック整形外科に常勤医師として就任した小林貴幸先生にインタビューを行いました。ゲスト一人ひとりに寄り添い、これまでに1000件以上の手術を執刀してきた小林先生の治療への熱意と人間性に迫ります。

### Q なぜ膝や股関節の手術を専門に選ばれたのですか？

— 膝や股関節の手術を専門に選んだのは、手術の美しさに魅力を感じたからです。手術が正確であればあるほど、ゲストのQOL(生活の質)に大きく寄与すること、そして手術の緻密さが直接的に傷の美しさに繋がる点に惹かれました。また、僕はレントゲン画像で人工関節の角度や場所、大きさを診ますが、完璧な位置に収まっているのを見ると綺麗なあ、と感じます。

### Q ゲストとのエピソードで心に残っている出来事があれば教えてください。

— 喜ばしいエピソードは日々沢山ありますが、心に残っているのは残念な出来事です。僕が執刀した手術ではありませんが、以前働いていた病院で人工関節手術がうまくいかなかった方が外来に來られて「こんなことなら手術しなきゃよかった」と涙された時のことは今でも忘れられません。

「医学的には問題がない」と言われ、行き場を失う方が影にいる現状は悲しいことです。そういう人を生み出してはいけないと強く感じますし、ゲストの生の声に寄り添うことが大切だと思っています。

### Q ゲスト一人ひとりにどのように寄り添って手術を行っていますか？

— ひとり一人に対して懇切丁寧に接するこ

とを心がけています。手術のやり方や縫合の方法、人工関節の設置の仕方、術後のやりとりや会話など、手術の過程だけでなく、術後も丁寧にゲストに向き合うようにしています。

### Q 「この仕事を選んでよかった」と思う瞬間はありますか？

— 手術が純粋に好きで楽しいという部分と、それを感謝の言葉で返してもらえる喜びの両方があります。関節の痛みでやりたいことを諦めていた方から「元気に動けるようになってこんなところへ旅行しました！」なんて聞くと嬉しいですね。次の頑張りに繋がるし、やりがいがあって、とても良い仕事だなと思います。それぞれのゲストが再び日常生活を楽しめるようになることに大きな喜びを感じます。

### Q どのようなモチベーションで技術の向上に取り組んでいますか？

— ちょっとビッグマウスですが、僕はゲストの前では常に世界一の医師でありたいと思っています。それが技術向上のモチベーションになっています。日本は国民皆保険制度があるので、医師の腕によって手術の費用が変わることはありません。だから、モチベーションを上げるものは信念なんですよね。ゲストに「この人に手術をしてほしい」と信頼していただけるなら、僕はそのゲストに対して最高のパフォーマンスをしたいと思っています。

# History

小林先生略歴 【資格】  
整形外科専門医  
人工関節学会認定医

- 1997 長野県松本深志高校卒業
- 2004 自治医科大学医学部卒業  
自治医科大学附属病院初期臨床研修
- 2006 長野県立木曾病院
- 2009 長野県立阿南病院
- 2013 社会医療法人栗山会飯田病院  
(卒業後9年間、木曾、阿南病院を中心に  
長野県内で義務年限を修了)
- 2016 人工関節・リハビリテーションセンター  
副センター長
- 2020 昭和伊南総合病院 非常勤医師
- 2024 多治見スマートクリニック入職

また、ゲストから信頼していただけるよう、手術の実績を自分のホームページでも公開しています。これも医者や病院を選ぶ上で客観的な指標の1つになると思います。

### Q 「これだけは譲れない」という診療や手術でのこだわりはありますか？

— 診療や手術で譲れないこだわりは、ゲストの皆さんにちゃんと向き合うということと、妥協しないということです。手術もそうですが、これでいいやと思ったらそこで終わりです。平均点の手術は誰にでもできるし、そこで妥協するようになった時はメスを置く時だと思っています。今40代半ばですが、これから10年ぐらいフルパワーで仕事できる時期なので、100点に近い手術を追求して技術を磨いていきたいです。



黒の愛車と

### Q この先10年の目標、夢はありますか？

— 夢は多治見スマートクリニックを日本一にすることです！優れたドクターもパートナーもいるし、専門特化したクリニックで活躍する環境が整っているの、すごく仕事がしやすいし、やりがいがあります。具体的に言うと年間300件の手術ができることを目標に頑張っていきたいですし、多治見スマートクリニックにはそれを実現するポテンシャルがあると思います。個人としては健康第一ですね。やりたいことを実現するために体をケアして、良いパフォーマンスを発揮できる50代を迎えたいです。

### Q プライベートではどのようにリフレッシュしていますか？

— 僕のリフレッシュ方法は、愛犬のチワワとの散歩です。家に帰ったら待っていて、私の癒しです。散歩でちゃんと信号待ちして座るんですよ。昔から黒色が好きなので、「クロ」という名前にしました。(インタビュー当日のお洋服も黒でした)でも全身黒だとクールに見られがちなので、ユニフォームはエビみみたいなピンク色にしました。他に誰も着てなかったし、ゲストも気分が明るくなるかなと思って。笑

### Q ゲストの方に一言メッセージをお願いします。

— 手術の腕には自信があります！得意な人工関節に命をかけて取り組んできましたし、体力、実力、技術の上で一番良い状態だと思っています。人工関節手術をお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。

インタビューを通じ、小林先生がゲスト一人ひとりに寄り添い、情熱を持って手術に取り組んでおられる姿が印象的でした。これからの10年も楽しみにしています。

小林先生の  
ホームページはこちら



<https://takayukikoba-joint.crayonsite.com>



愛犬のクロ